

母子保健領域における心理職との連携を図るための研修会

ー心理職による妊婦への支援事例の提示を通じてー

令和5年度より、山口県医師会母子保健委員会では、心理職を交えての研修会を開始しました。第1回は、周産期メンタルヘルス関連の事例を共有し、多職種連携の有用性を確認した機会となりました。第2回は、小児科領域での事例を通し、子どものこころの細やかな動きや成長、家族関係の影響の仕方、医師と心理職の情報共有のあり方などについて、みなさまと共有できる時間にいたしました。第3回となる今回は、妊娠中に精神的な支援を行った事例を共有したいと思います。

妊娠中の急激な身体的な変化は、妊婦に喜びをもたらすと同時に将来への不安も引き起こします。実際に、どんな気持ちを味わっているのか、医療従事者はどのような支援を行っていけば良いのかを知る貴重な機会になると思われます。

みなさま奮ってご参加ください。

日 時 令和8年3月22日（日） 10：00～12：00

場 所 山口県医師会6階会議室

開催方法 ハイブリッド形式

・来 場 型：山口県医師会6階会議室

（山口市吉敷下東三丁目1番1号）

・オンライン型：Zoom ウェビナーによるライブ配信

式 次 第

開 会

司会進行：山口県医師会常任理事

河村 一郎

座長：山口県医師会母子保健委員会委員

佐世 正勝

スーパーバイザー：山口大学医学部附属病院精神科神経科

野田 稔子

事例提示

1. 「周産期に強迫症状を呈した事例」

山口県立総合医療センター臨床心理部

坂本 泰啓

2. 「不妊治療を経て双胎の切迫早産になった女性への心理的サポート」

山口県スクールカウンセラー

高津あゆみ

閉 会

主催：山口県医師会

共催：山口県産婦人科医会、山口県小児科医会、山口県公認心理師協会、
山口県精神科病院協会、山口県精神科診療所協会

母子保健領域における心理職との連携を図るための研修会

参加申込方法について

下記の①、②のいずれかの方法で、3月18日(水)までにお申し込みください。

① 下記 URL、又は右記 QR コードからアクセスしてください。

<https://forms.gle/M6kvH1ZNzPuDjLQs6>



② 下記に必要事項をご記入の上、FAX 又は E-mail にてご提出ください。

山口県医師会 医療課 青木 行

(FAX : 083-922-2527 E-mail : aoki@yamaguchi.med.or.jp)

氏 名	
所属機関名	
職 種	
参加方法	☐ 来場 ※定員を超えた場合は、ご連絡いたします。 ☐ Web ※ Web の場合は必ずメールアドレスをご記入ください。 3月19日頃に当日の招待用 URL を送付します。
連絡先	TEL : FAX :